



菅野大志の

「いどばた会議」 vol.24

まちづくりに関する活動や近況などを西川町長・菅野大志が綴ります。

ご登録をお願いします！

今月の大ニュース!

『20年ぶりに復活！7月27日(土)にしかわ夏祭り！4,623人への感謝を込めて』



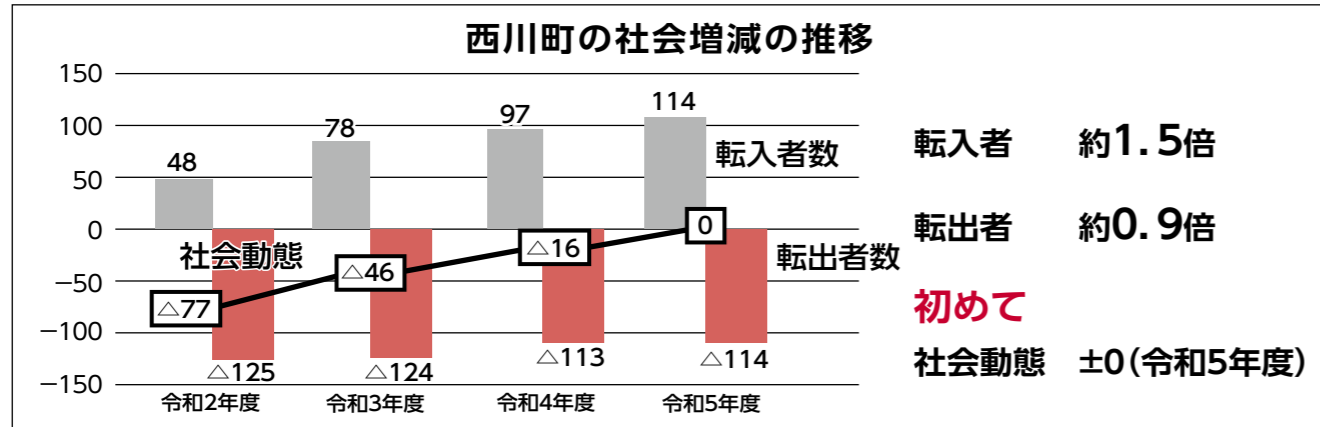
▲町公式LINE



▲オープンチャット

1. 西川町は、転入者が1.5倍で初の人口の社会減ゼロ！なぜ起きた？

- 町は、全国的に珍しい人口社会減（転入・転出）を止めました。その理由は2つ。
- ①町民の皆さまの温かさ
移住者に決め手をお聞きすると、「温かい地域だから。温かさを感じる」が1番でした。
- ②行政の戦略的な住宅整備
 - ・除雪軽減の町営住宅の計画的な整備
 - ・お試し暮らし住宅の整備



2. 西川町の方々は、なぜ「温かい」のか？

私は、昨年8月、観光戦略を策定。その際のアンケートから以下の推測が浮かんできました。私も、6市に住んできましたが、西川町ほど温かい地域はありません。

月山、朝日連峰の大自然に抱かれる西川町の人々は、はるか昔から自然と共生し、出羽三山の参詣者や山伏をもてなしてきたことから、「大らかで温かみのある町民性」が養われている。

3. 人の温かさと、移住は関係あるのか？

これまで私の経験を通じて得た考えを「ライフホームズ総研」が調査していました。結果はこちら。

- ①希望を持てる人の85%は住み続けたい。山形に希望を持つ割合は、下から4番目
希望を持ってない人は定住意識が低く、希望を持ってない地域は人口が流出する傾向にある。地域への希望の高さの都道府県ランキングは以下の通り。
1位 沖縄県、2位 福岡県、3位 東京都、4位 神奈川県、5位 愛知県…
43位 新潟県 44位 山形県、45位 青森県、46位 徳島県、47位 秋田県

②温かさと似た、地域の「寛容性」も、山形は下から4番目

寛容性とは「女性の生き方」「若者」「障がい者」への理解度、変化の受入等で点数化

	寛容性	女性の生き方	若者信頼度	少数派包摂
東京都	1位	1位	2位	1位
神奈川	2位	2位	1位	2位
大阪府	3位	3位	4位	4位
山形県	44位	34位	43位	45位
富山県	45位	45位	41位	44位
秋田県	46位	46位	47位	46位
島根県	47位	47位	45位	42位

(出典：LIFULL HOME'S総研、「地方創生のファクターX-寛容と幸福の地方論」 LIFULL HOME'S総研〜もっと住むことの自由を〜2021-12. https://www.homes.co.jp/search/assets/doc/default/edit/souken/PDF2021/homes_factorX.pdf (参照) 2024-07-04)

③寛容性が低いほど、人口減少率が高い傾向にある！

4. しかし、西川町の寛容性は高い！

3月から5月、創価学会山形県青年部は、地域の未来を考えてもらうアンケートを西川町で実施。これは、町民を対象として対面で301人（配布数450回収率69%）分のアンケートを収集し分析したものです。抜粋してご紹介します。

質問1. “もっとこうなったらいいな”と思うことは何ですか？

- 各年代とも「商業施設」「交通網」の充実が高いが、若い世代より60代以上の世代が「若者が増える」ことを望んでいる。
- 若者への理解度がある＝高齢者の寛容性が高い傾向があると言える

質問2. 100年後にも残したい「西川町の宝物」はなんですか？

- 1位：自然の豊かさ 第2位：食（山菜、水） 第3位：町民の人柄
- 町民の人柄が温かいことは、寛容性が高い傾向があると言える

5. さらに寛容な地域を目指す政策を進め、戻ってくる方、移住を増やす！

- (1) 地区での交流機会の増加 → ミニデイやいきいきお茶のみ会の積極開催
- (2) 地域・世代を超えた交流機会の増加 → すっだいこと補助金、サークル活動補助支援
- (3) 地域・世代を超えた交流する場をつくる → TRAS
- (4) 地域・世代を超えて成し遂げる事業 → にしかわ夏祭り・花火大会の開催
- (5) つなぐ課を中心として、人と人をつなぐ！

(具体例) 特技の把握：

2年前、88歳の賀詞贈呈の際に、認知症の予防のため毎日1～2個のかごをつくっていると話すお母さんを知る

課題の把握：

今年、西川町総合開発株式会社が「山菜団地の荒廃を防ぐ」ため山菜事業を創る。山菜を担う若手や山菜収穫観光者用に、かごが20個必要になった

→お母さんのかごをいただき、お互いに喜び、定期的に交流し、幸福度を上げていく

